

第4次北はりま定住自立圏共生ビジョン（案）の概要について

☆第4次北はりま定住自立圏共生ビジョン（案）の変更内容について

第1回北はりま定住自立圏共生ビジョン会議で提示した北はりま定住自立圏共生ビジョン（案）から下記の内容を変更しています。

主な変更内容①

SDGsとの関連（P.44）等を追記

西脇市では令和3年5月に、多可町では令和4年5月にSDGs未来都市に認定されています。また、日本経済新聞社が実施した「全国市区SDGs先進度調査」の総合ランキング（人口5万人未満の自治体）で、西脇市が3回連続で1位となるなど両市町ではSDGs推進に向けた取組みを行っています。

SDGsに関する認識も高まったこともあり、両市町で行っている事業と紐づけるため、各事業に「関連する主なSDGs」の欄を追加しました。

なお、下記2つの目標については、定住自立圏共生ビジョン全体の考え方に関係することから、共生ビジョンの取組み全体に共通する目標として位置づけています。



11 住み続けられるまちづくりを

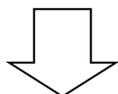
17 パートナーシップで目標を達成しよう

主な変更内容②

具体的な取組内容（P.54③、P.73⑯）の追加

第1回共生ビジョン会議の際に、三宅会長よりいただいた意見

「加西市・加東市を含めた3市1町での広域定住自立圏の取組みと棲み分けを行うことは効率性が求められる中で必要だが、同じ北播磨地域でも文化の違いもあるため、西脇市・多可町で独自に取り組む事業は残していくべき。」



いただいた意見を反映

現在、西脇市と多可町で取り組んでいる下記の2事業を新たに追加

③ 救急医療機関支援事業

⑯ 高齢者の学びと活躍支援事業

具体的な取組内容

33事業（第1回ビジョン会議時） ⇒ 35事業